



蘇州市相城区のビジネス環境の特徴

中日（蘇州）地方発展協力モデル区の日本の窓口
蘇州富吉日本センター

2024年11月21日



目次

- » 概要 : 中日(蘇州)地方発展協力モデル区について
- » 経営環境 : 蘇州市と長江デルタ経済圏
- » 紹介 : 蘇州富吉日本センターの役割
- » 重点推進 : 推進中の日中コラボ産業分野
- » その他の産業 : 越境ECと商貿に関するビジネス環境
- » 特色あるエリア
- » 連絡先

概要：中日（蘇州）地方発展協力モデル区について

中日地方発展協力モデル区とは？

- 2019年の日中両国の大臣級経済対話を踏まえ、2020年に中国国家発展改革委員会は日本との経済および文化交流を促進することを目的として蘇州、天津、大連、上海、青島、成都6都市に「中日地域発展協力モデル区」の設立を批准しました。
- これを受け、各都市が注力するビジネス分野を設定し、日中両国のビジネス連携を進めるための政策を進めています。



概要：中日（蘇州）地方発展協力モデル区について



蘇州市



日本

- 蘇州市は最も早くから「モデル区」の市内相城（そうじょう）区に立脚した取り組みを開始、積極的に推進し、パンデミックの間も蘇州市は在上海日本国総領事館などと強力に連携し、両国企業の協力を推進してきました。
- 蘇州富吉日本センターは蘇州市モデル区（相城区）からの受託で設立、日中企業の「共創・協業」に基づく成長モデルの構築を目標に設定し、日中企業のマッチングを行っています。
- 蘇州市隣接する上海市を含む長江デルタ経済圏として、中国マーケットへの日本企業の窓口となっています。

概要：中日（蘇州）地方発展協力モデル区について

江蘇省レベルのモデル区建設発展協調推進作業メカニズム



中日（蘇州）地方発展協力モデル区除幕式



国家發展改革委員会と中日（蘇州）地方発展協力モデル区設立一周年イベントを開催



第一回長江デルタ中日地方協力（蘇州）サミット会の開催

在上海日本国総領事館との業務連絡メカニズム



蘇州市と在上海日本国総領事館が協力モデル区業務連絡メカニズムを正式発表



蘇州市2021年中日ヘルスケア産業発展と協力会議を開催



蘇州市市長代理吳慶文氏が在上海日本国総領事館の赤松秀一総領事と会見



業務連絡メカニズムの枠組みのもとで、在上海日本国総領事館とエネルギーに関する会議を開催

蘇州市相城区の戦略的優位性



相城区常住人口
100万



面積
489km²



京津冀、長江デルタ、珠江デルタ及び
長江經濟ベルトの「3圈一帯」の重要
なノード地域に位置する



虹橋国際オープンハブ
北擴張ベルトに含まれる



相城区の主要経済指標（2023年）

各指標の成長率は全市の上位を占め、良好な成長傾向を継続している

1150億元

地域GDP

155.2億元

一般公共予算収入

620億元

固定資産投資

6.2億元ドル

外資投資額
(増加幅は蘇州市内1位)

5%増

地域GDP

6.5%増

一般公共予算収入

15%増

固定資産投資

237社

ハイテク企業数増加数
(成長率は5年連続で蘇州市内1位)

経営環境：蘇州市と長江デルタ经济圈

蘇州市の概要



長江デルタ一体化開発戦略：
蘇州市は隣接する上海市とともに、「一つの都市」としての発展を求められています



GDP：
2.4兆元、中国の都市で第6位



都市住民の一人当たり可処分所得：
上海、北京に次ぐ、第三位に位置しています



一定規模以上の工業企業の
総生産額：
4.36兆元、全国第二位



中国の大学ランキング：
上海交通大学と南京大学が
新しい拠点を設立しました



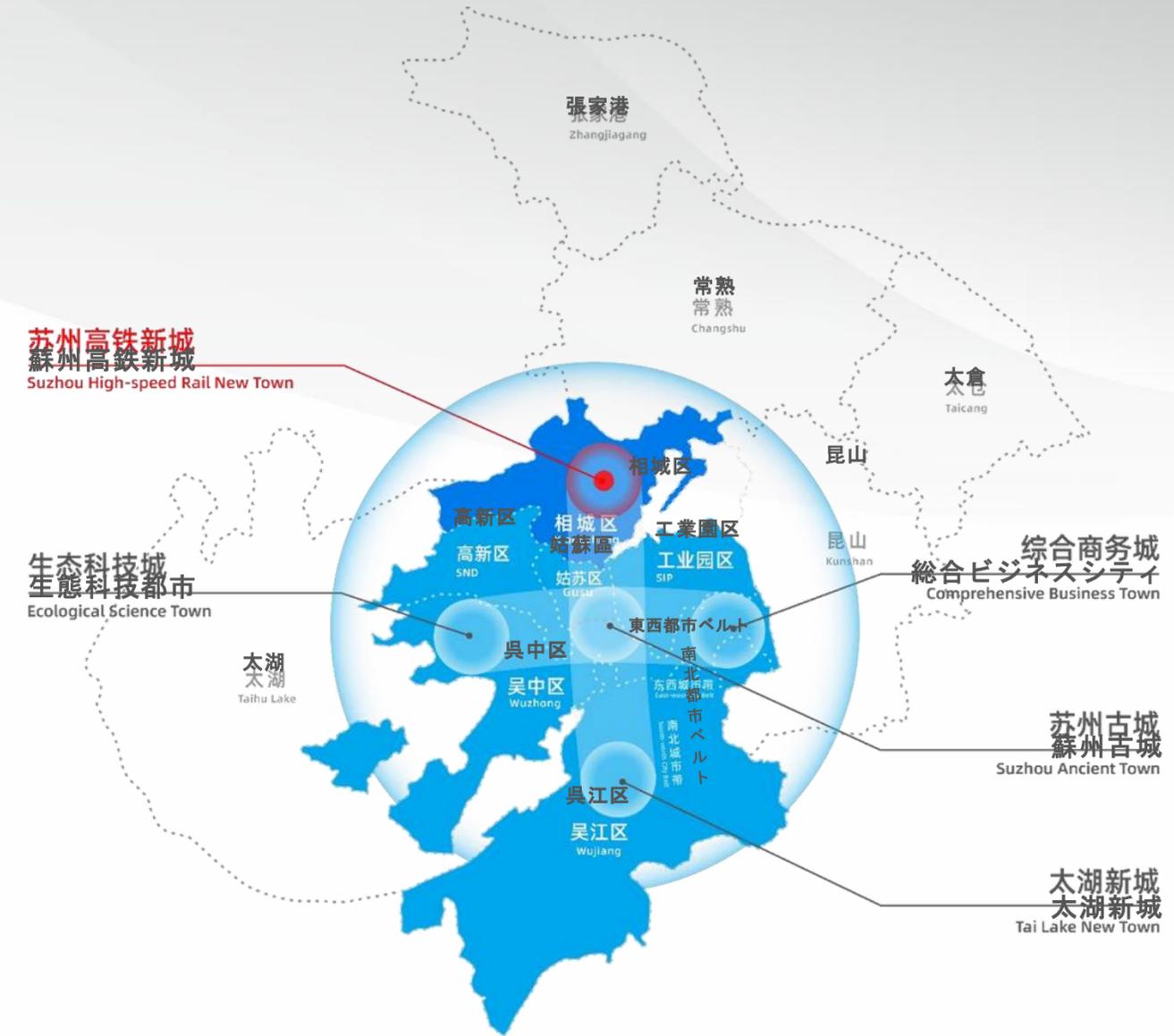
日系投資の利用額：
138.5億ドル



蘇州の対日輸出入貿易
総額：
300億ドル超



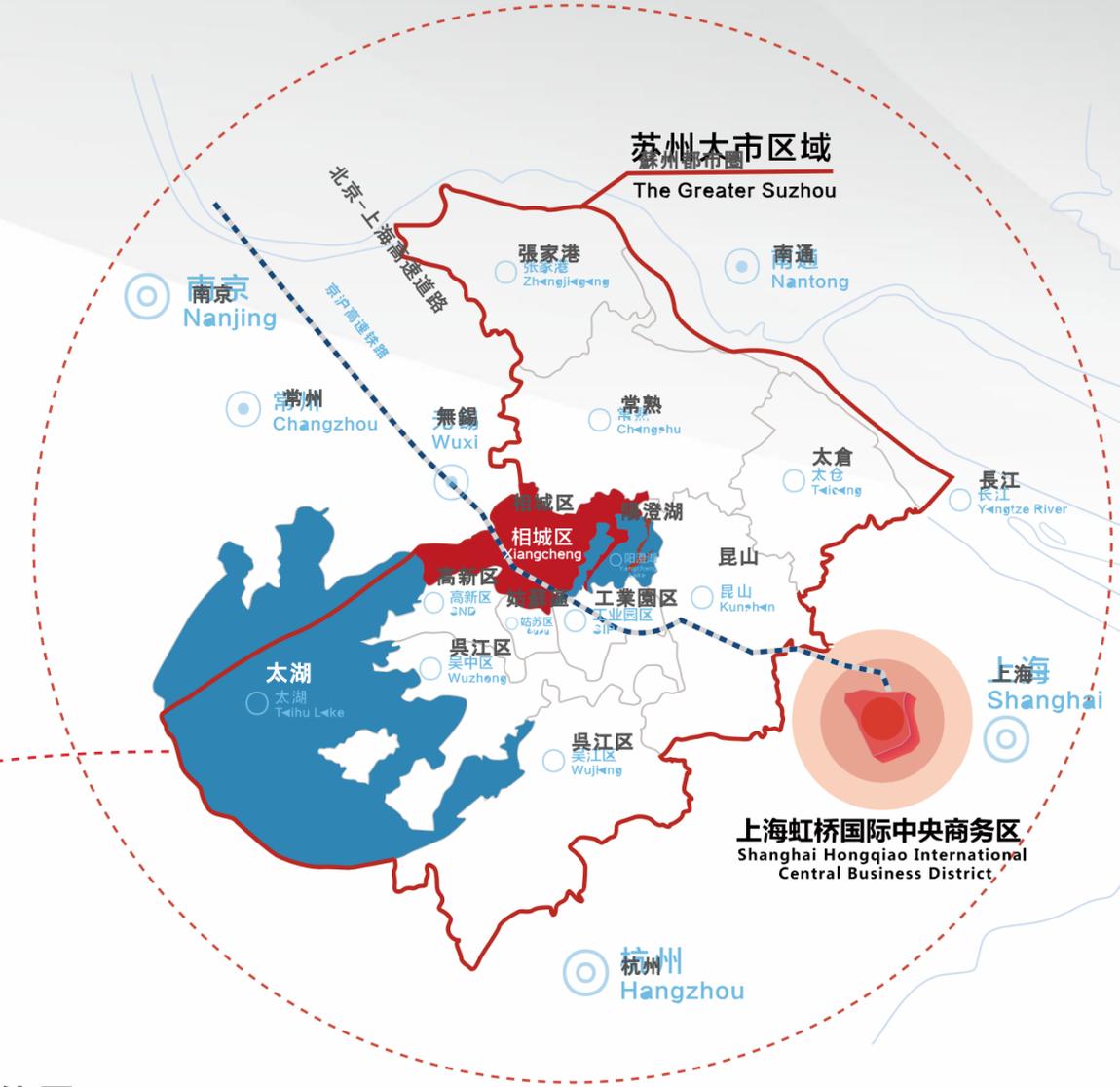
日系企業：
1500社以上、トヨタ、パナソニック、日立、三菱、住友など日系企業が含まれます



経営環境：蘇州市と長江デルタ経済圏

蘇州市相城区の概要

- 2001年に設置された相城区は、東は上海、西は太湖、南は古城、北は長江に接しており、長江デルタ経済圏と蘇州市の中心に位置します。
- 地域面積は489平方キロメートルで、総人口は約100万人です。
- 1.5時間交通圏で上海虹橋、上海浦東、杭州蕭山、蘇南碩放、南京禄口の5つの国際空港に到着することができます。



蘇州・相城区が
長江デルタ経済圏の中心部に位置

相城区は長江デルタの一体化、揚子江都市群、上海大都市圏、蘇錫常都市圏（蘇州、無錫、常州都市圏）などの発展戦略に基づき、「蘇州市域の新しいセンター」と、「長江デルタ地域のデジタル化発展の第一区」を目指しています。



経営環境：蘇州市と長江デルタ経済圏

蘇州市相城区の研究開発拠点の集積



インテリジェント・コネクテッド・ビークル（ICV）応用シーン

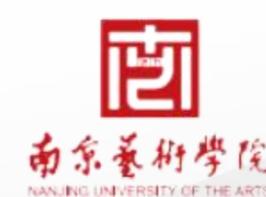


先進技術成果長江デルタ実用化センター



蘇州市衛生健康委員会が藤田医科大学と協力MOUを締結

ここ数年、蘇州市は清華大学、北京大学、同濟大学、武漢理工大学、江蘇省産業技術研究院と30件以上の産学研連携を展開しています。例えば、清華大学蘇州自動車研究院など、中国でも最先端を行くイノベーション・プラットフォームの構築が進められています。現在、国家級4社、省級インキュベーター13社、市級17社のインキュベーション企業が進出しています



経営環境：蘇州市と長江デルタ経済圏

蘇州市相城区の日系企業との協力の推進

蘇州市には1990年代から日本企業が進出し、上海市に次ぐ日系企業の集積地として、長年にわたり中日経済関係の重要な基盤となってきました。トヨタ、ダイキン、松下、日立、富士フィルムといった日本の大手企業を始め、製造業の進出が多いことは特長です。相城区には、ダイフク、生田産機工業といった製造業のほか、日産モビリティサービス、大和ハウスなどの現代サービス業も進出しています。近年日系企業の数が増え、累計投資額が1億ドル近くまで上がりました。



日産モビリティサービス



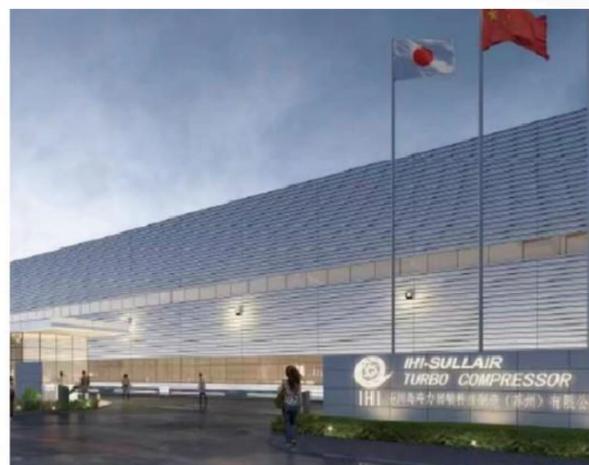
ダイフク自動搬送システム



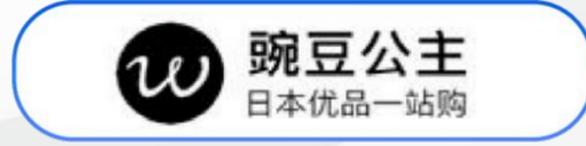
大和ハウス総合開発



IHIターボ圧縮機



WHILL（ウィル）
スマートモバイルデバイス



紹介：蘇州富吉日本センター

中日（蘇州）地方発展協力モデル区の受託により、当センターは東京都千代田区神田神保町にて開設し、日中のビジネス交流を推進するための日本の窓口となっています。

また、長江デルタ地域全体の発展と「長江デルタ一体化発展戦略」の推進により、蘇州市は中日関係に新たな活力をもたらし、日本の強力なパートナーとなることを目指しています。

日々の活動のなかで、当センターは日中共通の持続的発展の課題にフォーカスし、両国企業の「**共創・協業**」に基づく成長に寄与することを目標に挙げ、主に以下のサービスを提供しています：

①コミュニケーション

オンライン／リアルでのコミュニケーションの促進

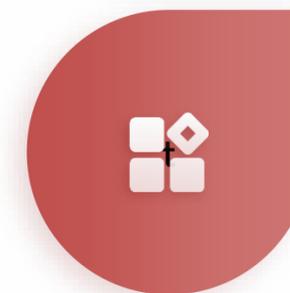


③ネットワーク構築

両国の現地視察の企画によるネットワークの構築

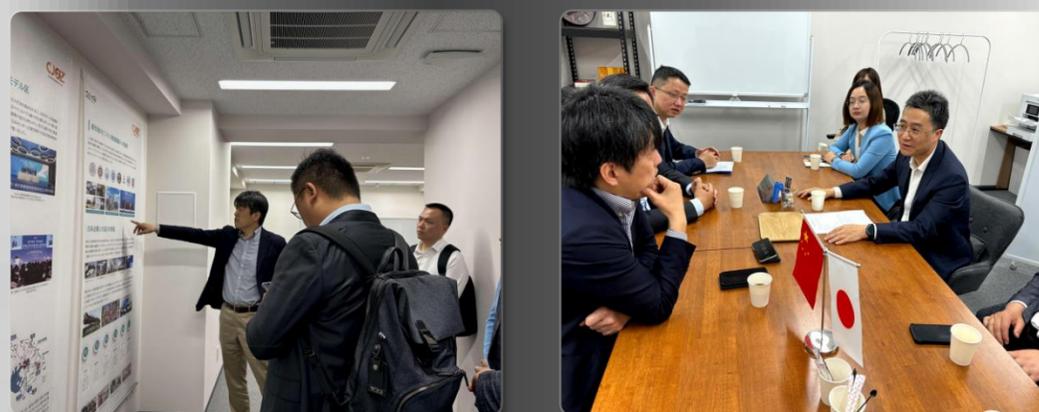
②マッチング

ニーズマッチングおよびそれに関連する様々なイベントの開催



④産学官連携

両国における産学官連携促進への取り組み



ISO 200

S 1/2000



M

来訪者にモデル区を紹介

来訪企業と打ち合わせ

紹介：蘇州富吉日本センターの役割

蘇州富吉日本センター



当センターが推進中の日中コラボ産業分野

ヘルスケア/自動運転（ICV）/ロボティクスの3分野を推進

当センターが開設以来、日中双方の社会発展ニーズにフォーカスし、蘇州モデル区の産業インフラの強みと、日本企業の海外進出ニーズの両方を見据えたうえ、①ヘルスケア（医療介護）、②自動運転（スマートモビリティ、ICV）、③ロボティクスなどの領域で、日中企業のマッチングをサポートし、期待された役割を果たし始めています。



①介護リハビリ医療

②自動運転
(ICV: インテリジェント・
コネクテッド・ビークル)

③ロボティクス

①蘇州モデル区と日本との間にできた産学官連携モデルに基き、中国全土に展開可能な医療介護リハビリサービスを推進しながら、日本企業の進出をサポートします。

②モデル区のスマート運転インフラの強みを活かし、日本自動車メーカーと地元ユニコーン企業との連携事業を手本に日中間のコラボを増やします。

③日中共通の少子高齢化による人手不足の社会問題に着目し、モデル区展開中のロボティクスインフラに基づき、日本企業に実験環境の利便性を提供します。

推進中の日中コラボ産業分野：ヘルスケア

当センターは、ヘルスケア分野の日中技術コラボ機会の発掘とスタートアップ企業の育成に注力し、イベントの開催のみならず、開催後のフォローアップ体制によってオープンイノベーションの促進と中国向けの販路拡大も引き続き支援します。

この考えに基づき、蘇州モデル区の支援を得たうえ、6月18日に「第2回 日中国際医療産業サミット～2024 蘇州（東京）ヘルスケア産業イノベーション協力マッチング交流会～」を開催しました。ヘルステック分野の日中スタートアップ企業6社によるピッチならびに14社のブース展示を行い、300人超の来場者と交流しました。これらの企業に対して、以降も日本セターは相城区と連携体制を作ってフォローアップしていきます。



サミット会開催時の会場内の様子



蘇州市副市長顧海東氏がピッチ発表の優秀企業に賞状と賞金（蘇州現地視察支援金）を授与



当日、東京ホテルニューオータニの会場入口

推進中の日中コラボ産業分野：ヘルスケア

6月18日に東京で開催した「第2回 日中国際医療サミット～2024蘇州（東京）ヘルスケア産業イノベーション協力マッチング交流会～」の会場内において、登壇企業発表の様子と、来場者が交流している光景。

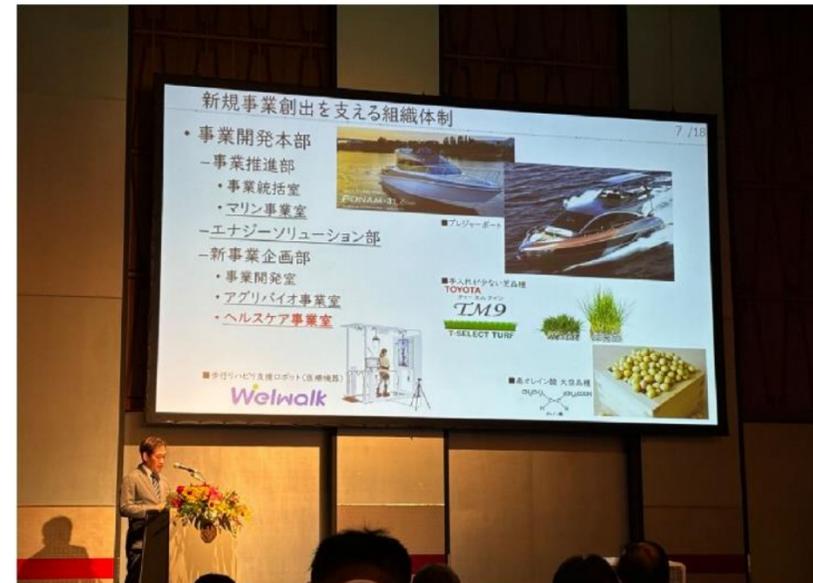
Program



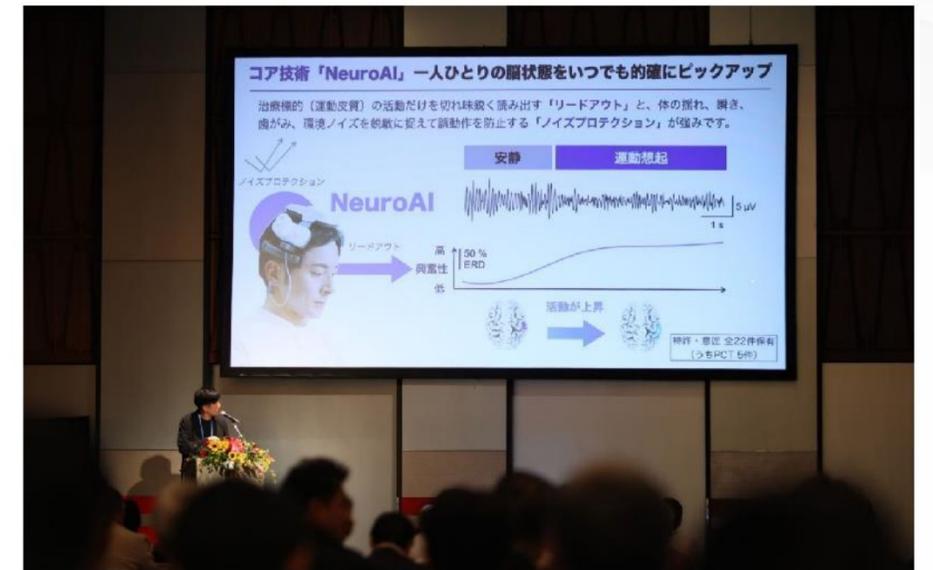
Time	Program
14:50-15:05	建立无创血糖检测设备和生理数据平台 Healthcare Vision 创始人兼CEO 郭 若峰
15:05-15:20	对强度近视/散光、远视/老花眼的“ortho - k”适应症扩大和治疗效果 三井医疗诊所 院长 三井石根
15:20-15:35	中日医康养集成产业链孵化中心的建构 苏州相城生命科技港—中日医康养集成产业链孵化中心 CEO 康 家浩
15:35-15:50	小生物的惊人能力-关于N-NOSE线虫检测的新进展 HIROTSU生物科学股份有限公司 中国业务总监 魏 弘诚
15:50-16:05	楚精灵医疗与上海镜影信息科技的医疗人工智能技术创新 ENDOANGEL社・EndoVista社 创始人, 董事长 & 总经理 刘斌博士
16:05-16:20	可穿戴BMI对大脑的康复和保健 LIFESCAPES股份有限公司 董事长 牛场润一

2024年 蘇州（東京）ヘルスケア産業イノベーション協力マッチング交流会
兼第2回日中国際医療産業サミット

当日サミットセッションの発表プログラム



トヨタ社よりヘルスケア新規事業への取り組みの発表



LIFESCAPE社の発表「ウェアブルBMI」



来場者とポスター出展企業と交流



蘇州市副市長顧海東氏が登壇社と交流



中国側企業も登壇して発表

推進中の日中コラボ産業分野：ヘルスケア

当センターは（一般社団法人）国際スマート医療健康協会と連携し、相城区とMOUを結んだ藤田医科大学が同区において展開準備中の中国リハビリ人材育成コースや、中国現地向けの医療リハビリサービス展開の探索を支援しています。

将来は、中国全土に普及可能な蘇州発の日中コラボによる介護医療リハビリサービスの育成を目指しています。



プロジェクトの目的

中国の療法士に対して

自立を支援し、活動を育む

リハビリテーション医学・医療の

実用的教育を行う



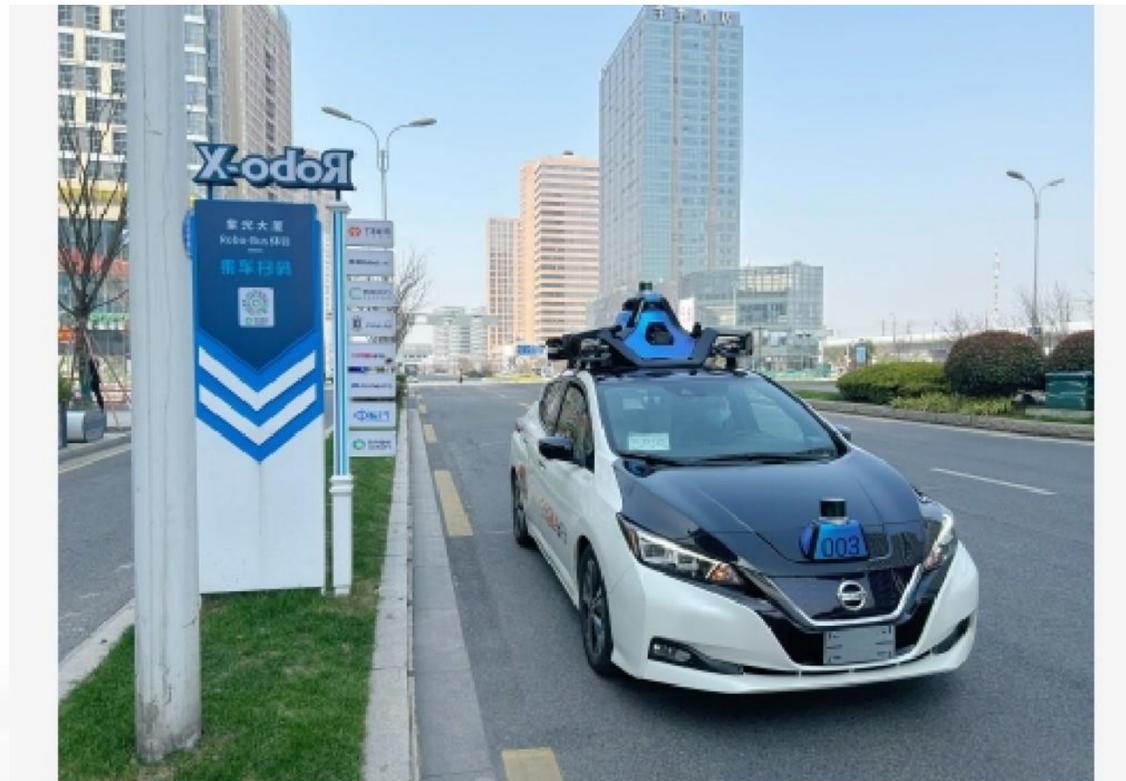
藤田医科大学の金田嘉清副学長が6月18日に行われた「第2回 日中国際医療産業サミット～2024 蘇州（東京）ヘルスケア産業イノベーション協力マッチング交流会～」にて基調講演を発表

藤田医科大学の金田嘉清副学長の基調講演資料より抜粋

藤田医科大学が東京都羽田空港の近くに運営している「先端利用研究センター」

推進中の日中コラボ産業分野：自動運転（ICV）

自動運転は、交通事故の防止、渋滞の緩和だけでなく、日本がいま直面している「運転手不足」や「2024年問題」への解決策として高く注目されています。この分野に関して、先行している中国では、北京、上海、広州などですでにロボタクシーの走行試験が始まっています。この中に、蘇州相城区がは自動運転の研究開発・実証の環境を整備しているため、自動運転に関する地元ユニコーン企業であるMomenta社や、日産モビリティサービス社のロボタクシーサービスなど多くの企業が集積しています。



（出典：36Kr 日本語版）

2024年3月始めに、日産自動車傘下の日産（中国）投資有限公司の完全子会社である「日産モビリティサービス（日産出行服務）」が江蘇省・蘇州相城区にて自動運転タクシー（ロボタクシー）の実証実験を開始しました。

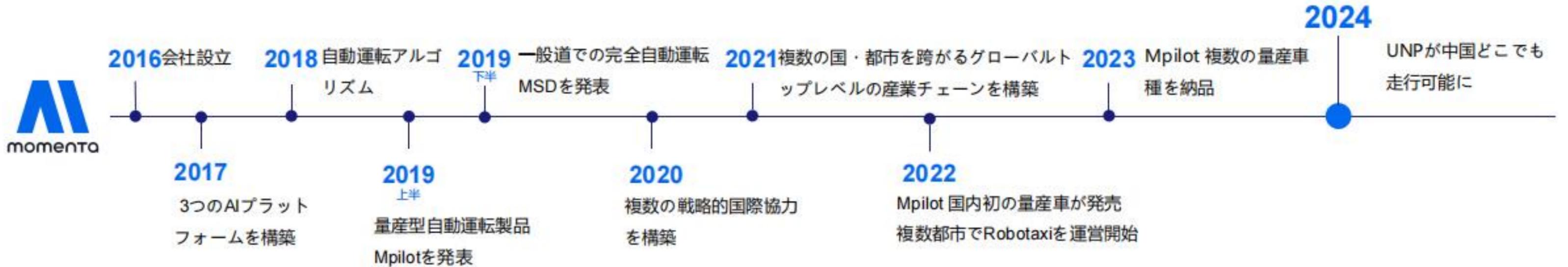


（出典：富士経済）

富士経済が2020年9月に発表した自動運転シャトルの国内市場調査によると、自動運転シャトルは2030年に170台、2035年に460台が投入され、市場規模は322億円に達すると予測しています。

自動運転のユニコーン企業Momentaの概要

(2024年8月時点で日本には既に3社の子会社を設立！)



資金調達総額 ~ 13億ドル

戦略パートナー

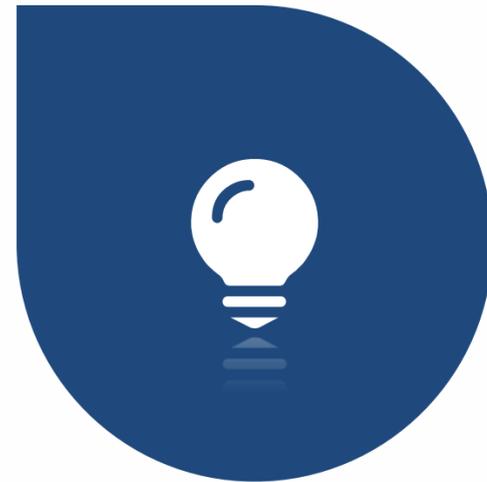


推進中の日中コラボ産業分野：自動運転（ICV）

—蘇州モデル区の4つの取り組みを展開中—

エコシステム構築活動

清華大学蘇州自動車研究所を中心として、業界トップの開発リソースを含む産業エコシステムの構築を推進中。



第三者管理機関

第三者管理機関の「先導産投社」は自動運転車の路上試験および実証申請の受付、専門家組織実証評価、テスト追跡、データ収集、日常監督など市のICVのプロセス全体の監督を担当しています。

業界標準策定への関与

全国初となる「スマートハイウェイ車道連携路側施設構築・活用技術仕様」の制定と4つの地方標準、「システム構成と基本プラットフォームアーキテクチャ」など4つの団体標準の策定へ関与、産業クラスターの発展に寄与しています。



業界連合会設立支援

関連協会の連携強化と、サプライチェーンのリソースの統合を促進しています。Auto Club自動運転クラブは定期的に研究会、産業チェーン交流会、研修会、レクリエーションなどの多彩な活動を行い、エコシステムの構築を促進中。

ICV（インテリジェント・コネクテッド・ビークル）産業

蘇州における最初の路上運転ライセンスの発行やインテリジェント運転計画の発表により、自動運転を一般道路へ開放し実証と商用運用を推進しています。現在、すでに54の実証エリアと600台を超えるICV車両があり、これにより相城区が江蘇省の無人配送モデル区として承認され、蘇州が車両、道路、クラウドの統合環境のモデル都市となっています。



Robobus



無人ゴミ収集



自動パーキング



無人パトロール



Robotaxi



無人配送



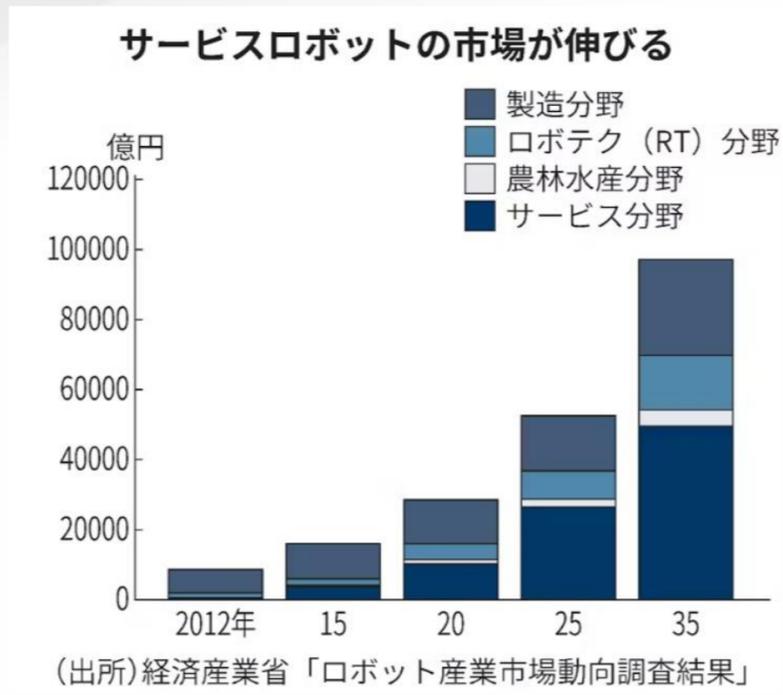
幹線物流



無人送迎

推進中の日中コラボ産業分野：「ロボティクス」

日本も中国も、少子高齢化の共通問題に直面しています。今後、ロボティクス分野では産業ロボットのほか、介護業界、飲食・小売店・ホテル業界、物流業界では深刻な人手不足を背景とした自動化・省人化ニーズは今後も高まっていくとみられ、日中各社によるサービスロボットの開発と導入及びコラボが一層前進し、共に市場拡大の機運を迎えてくると思わます。



経産省の予測では2035年にサービスロボット市場は50兆円の規模に達する



日本のスタートアップ企業が導入中のホテル用サービスロボット

厚労省事業

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築

- 相談窓口: 介護ロボットに関わる相談受付、介護ロボットの紹介・試用誘導、介護ロボットの体験展示・実証的な活用方法の研修会、コース・コース開発支援等の実施・運営
- 実証フィールド: 介護現場での試験的実証、介護現場での実証
- リビングラボ: 介護ロボットの製品評価・実証検証、介護現場での実証実証、介護サービスの向上、介護現場でのサービス提供に向けた対応

- 産学連携/機器開発の経験豊富な本学スタッフからのアドバイス
- 介護/医療現場のユーザ視点に立った開発の支援
- ヒトを対象とした各種研究開発に向けた支援

全国17の相談窓口 | 本学を含む全国8のリビングラボ

リビングラボ (本学大学病院) での取り組み

藤田医科大学の金田嘉清副学長の基調講演資料より抜粋：日本における介護用ロボットの開発・実証・普及の状況



中国企業がホテル用サービスロボット分野では先行しているケースもある

推進中の日中コラボ産業分野：「ロボティクス」

蘇州モデル区発ロボティクス産業

ドローン物流産業地域

望亭国際物流園區の地理的優位性を十分に発揮し、無錫空港との連携によるドローン物流産業の拡大をバックに、ドローン物流の実証を実践中。



望亭国際物流園區



ドローン速達配送

全空間無人システム工業団地

ICV（インテリジェント・コネクテッド・ビークル）産業と連携し、高鉄新城から放射状に広がる「航空、鉄道、水運、陸運」の全空間共同運行実証エリアを整備中。



相城区高鉄新城



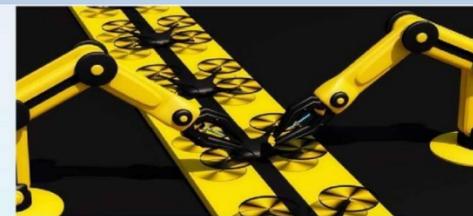
都市立体交通業務

インテリジェント製造産業エリア

インテリジェント製造特性工業団地をベースに、精密部品、航空機製造などの高度インテリジェント製造産業クラスターを形成中。



精密部品製造



ドローン製造

ドローンインフラ

相城総合空港は、陽城湖の立地の利を活かして、飛行管制支援やドローン整備支援などドローン産業サポート機能を提供します。



ドローン飛行管制



ドローン整備支援

その他の産業：相城区の越境EC産業

- ▶▶ 越境ECでの輸出入額は23.9億元（2023年）
前年同期比で52.9%の増加率
- 2024年1-7月，輸出入額は20.82億元
前年同期比20.7%増



その他の産業：相城区の越境EC産業

強力な越境電子商取引インフラを構築。元和塘ライブコマース産業園、高铁新城デジタル貿易(越境EC)産業園、黄橋デジタル経済産業園などがあり、総面積は10万平米超の越境ECインフラとする計画です。さらに、管理法を通じたプロジェクトを開始し、商品の輸出入量を年間6億ドル以上増加させます。



马修佩里-服装产品直播间



爱优倍-吹风机



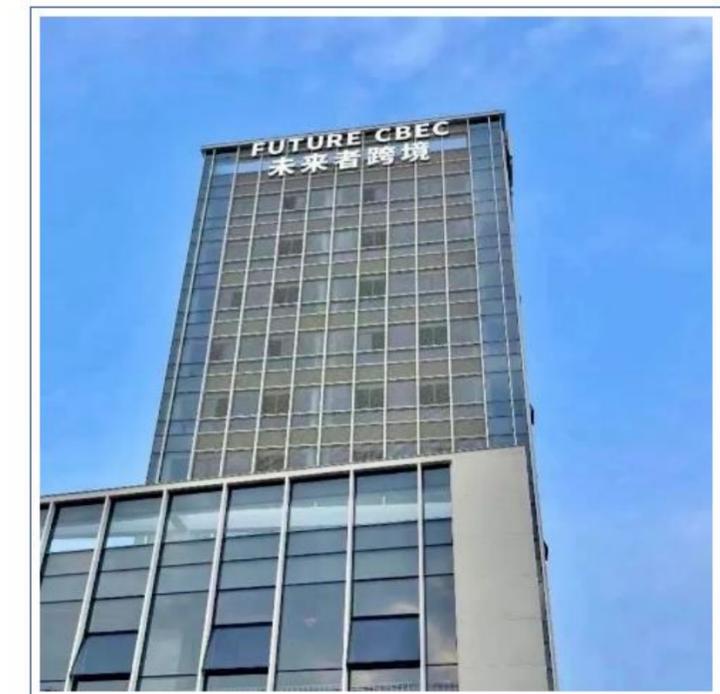
元和塘直播电商产业园



高铁新城数字贸易(跨境电商)产业园



黄桥数字经济产业园



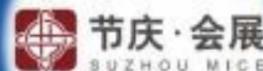
未来者跨境电商产业园

その他の産業：デジタル文化産業

広告・展示会産業

広告・展示会関連企業は60社以上

上海（虹橋）-蘇州（相城区）連携展示会エリアとし、中国国際輸入博覧会の開催地とします。



ライブコマース

蘇州市の十大産業園の一つである蘇州高鉄新城EC産業園は「蘇州市越境EC総合試験区重点園区」「江蘇省ECモデル区」などを受賞しており、高く評価されています。

長江デルタEC経済の先進地として、「MCN機構」+「有カプラットフォーム」+「KOL人材」の3つを擁するECエコシステムを形成します。
MCN（Multi-Channel Network）機構：コンテンツ制作者などにサービスを提供する企業

KOL（Key Opinion Leader）人材：消費者に影響力を持つインフルエンサー

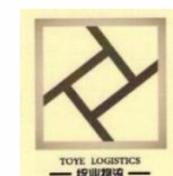


その他の産業：国際物流園区（望亭鎮）



詳細：

- 面積 約1600 亩(1平方キロ超)
- 国内外の有力物流企業 140 超が進出
- 江蘇省のモデル物流園区
- 長江デルタの物流重要集散地
- 蘇州市サービス業発展重点分野



その他の産業：クリエイティブコンテンツ産業 (太平街道)

- ▶▶▶ クリエイティブコンテンツ企業 300社以上
- 蘇州陽澄湖デジタル文化クリエイティブ産業園 面積150 畝(10万平米)、建設面積20万平米、住居寓5.4万平米
- デジタル出版産業を核として、越境EC、クリエイティブ産業、IP貿易、研究開発などに重点
- 3つの国家級称号と13の省級受賞
- 区級以上の無形文化遺産5個，無形文化継承人11名



蘇州陽澄湖デジタル文化クリエイティブ産業園

中紙在线
Zhongzhi.CN



UM
STAR
芝点·意创



苏州探索
文化科技有限公司



纸加



谷草文化
GUCAO CULTURE



A'LIVE



奇果

国家数字出版基地

国家デジタル出版基地

国家级科技企业孵化器

国家級科技企业
インキュベーター

全国版权示范园区
(基地)

全国IPモデル区(基地)

その他の産業：デジタル文化産業 - eスポーツ

会場：陽澄国際Eスポーツ館 強豪チーム：蘇州李寧LNG、AR、XGなど



競技大会：LoL、DOTA、PUBG、王者荣耀など著名タイトルの大会を開催



実績：強豪「XG」 2023アジア大会DOTA部門金メダル



経済効果：LPL (LoLプロリーグ)、eスポーツなど、多数大会の開催により宿泊客増など多くのオフラインでも経済効果



研究：北京大学とeスポーツチーム「LNG」が共同でプロゲーマーの健康維持のプロジェクトを実施



その他の産業：デジタル文化産業 – 映画製作



相城映画アニメ産業協会

映画テレビ産業園は蘇州相城映画アニメ産業協会により設立されました。協会は相城区文化体育局主管の区級映画アニメ業界団体で、2018年11月に設立されました。

協会は蘇州に立地し、長江デルタをはじめ全国の映画アニメ業界の法人にサービスを提供し、業界の団体として活動しています。

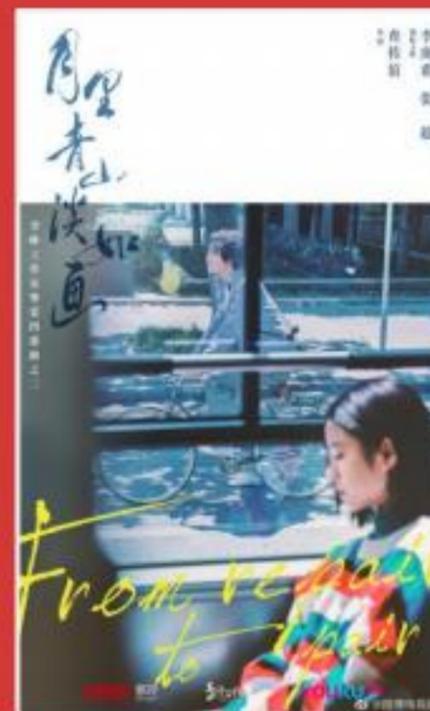
会員間や他業界との交流を促進するとともに、団体や政府との意見交換を通じて相城区内のアニメ産業の発展を図り、社会主義市場経済の発展に寄与しています。

協会には30社以上の会員があり、定期的な活動、著名者による講演開催、編集技術、展示会参加等の活動を行っています。

その他の産業：映画製作

プラットフォームサービスの例

蘇州高鉄新城文化産業発展有限公司は国内最高の総合力で映画コンテンツ産業全体のサービスを提供するプラットフォーム。資金調達、撮影、制作宣伝の全行程でのサービスを提供し、設立後2年で20以上のプロジェクトにかかわっています。



特色あるエリア：高鉄新城の概要

総合産業社区(2か所) 综合产业社区

- ① 長江デルタ国際研究開発社区(建設中)
长三角国际研发社区
- ② 蘇州高鉄新城デジタル経済産業園
苏州高铁新城数字经济产业园

特色産業園(7か所) 特色产业园

- ① デジタル金融産業園 数字金融产业园
 - 相城金融産業園
相城金融产业园
- ② 先進材料産業園 先进材料产业园
 - 長江デルタ先進材料産業園
长三角先进材料产业园
 - 長江デルタ国際研究開発社区起動区二期(建設中)
长三角国际研发区启动区二期
- ③ ICV産業園 智能车联网产业园
 - 長江デルタICVイノベーション園
长三角智能网联汽车研创园
 - 新インフラICV産業園(建設中)
新基建智能交通产业园
 - 蘇州ICVイノベーション園
苏州智能网联汽车科创园
 - 蘇州ICV産業園
苏州智能网联汽车产业园

※ ICV：インテリジェント・コネクテッド・ビークル

- ④ ブロックチェーン産業園 区块链产业园
 - 高鉄新城産業園
高铁新城区块链产业园
- ⑤ エネルギーインターネット産業園 能源互联网产业园
 - 高鉄新城スマートエネルギー応用産業集積区
高铁新城智能能源应用产业聚集区
 - 高鉄新城総合エネルギー産業園(建設中)
高铁新城综合能源产业园
- ⑥ 現代貿易サービス産業園 现代商贸服务产业园
 - 高鉄新城EC産業園
高铁新城电子商务产业园
 - 中国オランダ(蘇州)科技イノベーションポート
中荷(苏州)科技创新港
 - 長江デルタ(相城)情報セキュリティ産業園(建設中)
长三角(相城)信息安全产业园
 - 長江デルタ国際人材イノベーション園区
长三角国际人力资本创新园区
 - 蘇州中関村バレー情報イノベーションセンター
苏州中关村信息谷创新园
- ⑦ デジタル文化クリエイティブ産業園 数字文化创意产业园
 - 蘇州映画アニメ産業園(一期)
苏州影视动漫产业(一期)
 - 蘇州高鉄新城eスポーツ産業園
苏州高铁新城电竞产业园
 - 非凡文化クリエイティブ産業園(建設中)
非凡文化创意产业园

特色あるエリア：相城区太平街道

- ▶▶ 200以上の環境保護企業の集積があり、相城区の環境関連企業の半数近くが集積。
- メインボード上市企業 1社
- 太平環境保護産業園は面積35畝(2.3万平米)、総建設面積 6.8 万平米
- 国家級科学技術企業インキュベーター

SJEF 仕净科技
SHIJING TECHNOLOGY

JOY.FA

DIHILL 帝瀚



苏州思上环保科技有限公司
Suzhou Polysmart Environmental Technologies Co., Ltd.

源青净
YUANQINGJING

Hipure 苏州海谱尔环境科技有限公司
SUZHOU HIPURE ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CO., LTD.

KESON
—科选环境—

雄安环保
Xiongan Environmental Protection



陽澄湖省エネ環境保護科学イノベーションパーク

特色あるエリア：相城経済技術開発区

三大重点産業 重点发展三大产业



新材料
新材料



新エネルギー
新能源



設備製造
装备制造

蘇州富吉日本センター

日本企業との関係づくりに誠心・誠意を持って
会話しながら、この時代に相応しい

「共創・協業」の日中コラボモデル
を構築していきます。



蘇州富吉日本センター 運営チーム

住所 : 〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-8-1リベラ神田神保町8F

主任 : 甲斐元虎

副主任 : 王淅 (ワン・シー)

連絡先 : suzhou@cjsuzhou.com



越境 EC の発展に関する報告

相城高新区(元和街道)

2024 年 4 月

一、越境 EC 業界の基本的な状況

相城高新区(元和街道)は、現代のビジネスサービス業界の優位点を活用して、越境 EC を積極的に発展させ、元和堂ライブ EC 工業団地を主な位置として、優れた利益と強力な可能性を備えた高品質の越境 EC 企業を数多く育成し、育成しています。

元和塘ライブコマース産業園は、元和街道の喜慶路 99 番地にあり、総建築面積は約 70,000 平方メートルです。産業園は 3 階建てで、1 階は主に蘇州原力聚合孵化管理有限公司が越境 EC 産業園を運営しており、2 階と 3 階は蘇州斜杠広場ライブコマース基地となっています。

(1) 原力聚合跨境電商産業園

原力聚合跨境電商産業園は、元和塘ライブコマース産業園 1 階にあり、総建設面積は約 3,280 平方メートルで、2023 年 11 月に正式に運用が開始され、現在 11 社の企業が入居しています。産業園には自社開発の越境 EC サプライチェーン管理システムがあり、DHL や J&T ロジスティクスなどの大手ロジスティクス企業と緊密に連携しています。産業園は、アフリカで 2 番目に大きい EC プラットフォームである Tospino によって、中国の長江デルタ地域のオペレーションセンターとして承認されており、アフリカ市場の探索に関心のある国内の EC 企業がアフリカに海外に進出し、製品の発売から販売までの全プロセスを開放するのを支援しています。工業団地は 2024 年に 4,000 万元以上の税収を持ち、2 億元の国境を越えた売上高を達成すると予想されています。

(2) 斜杠広場ライブコマース基地

斜杠広場ライブコマース基地の総面積は 36,000 平方メートルで、2021 年に稼働開始しました。プロジェクトの第 1 フェーズの使用可能面積は約 18,000 平方メートルで、包括的なライブコマースプラットフォームを構築します。第 2 フェーズの使用可能面積は約 6,200 平方メートルで、越境 EC 企業クラスターの構築に使用されます。斜杠広場は、2022 年に市営ライブコマース基地の認証を取得し、2023 年に江蘇省級の EC モデル区となりました。現在、300 以上の企業、30 以上の生放送室があり、23 年末までに累積売上高は 32 億元を超え、税収は約 3700 万元で、900 人以上が雇用されています。斜杠広場には、破浪、烜林、菠萝科技などの 10 社以上の越境 EC 企業があり、23 年末までに累積越境取引量は 8 億元を超えています。

1. 破浪電子商務有限公司

2015 年に設立された同社は、外国貿易 B2C の EC 事業を中核事業としています。Amazon などの欧米の主流の越境 EC プラットフォームを活用して、同社は主にペット用品やオフィス家庭用品などのカテゴリーを扱っています。40 以上の国際的なブランドと特許、および 100 人以上の従業員がいます。2020 年、同社は蘇州で越境 EC のモデル企業であり、虎丘(蘇州)税関の最初の「9810」通関企業として評価されました。2022 年の同社の収益は 4 億元、税収は 150 万元、越境 EC の売上高は 2 億元になります。2023 年の収益は 3 億 3000 万元、税収は 112 万 7000 元、B2B 輸出は 211 万 1500 元、海外倉庫の輸出は 2 億 1240 万元になります。

2. 烜林跨境電子商務有限公司

2022 年に設立された同社は、Amazon を通じて商品やサービスを販売する、越境 EC 専門企業で

す。主力製品は、ホームテキスタイル、日用品、キッチンマット、寝具などです。事業は米国に集中しており、世界的に有名な EC 企業および革新的な EC 業界のリーダーになることを目標に、ヨーロッパおよびアメリカ市場の拡大に焦点を当てています。2022 年と 2023 年には、四半期の平均売上高は約 400 万米ドルで、年間売上高は 1 億元を超えると予想されています。

3. 中創鋁業跨境業務合資プロジェクト

蘇州中創鋁業と広州中野金属制品有限公司は元和塘ライブコマース産業園 2 階に合弁事業会社を設立する計画で、北米、南アメリカ、オーストラリア、日本、東南アジア、その他の国に輸出されるアルミニウム製品の越境 EC 販売を促進することを目指しており、製品は産業、エンジニアリング、救助、防火などの場所で広く使用できます。年間売上高目標は 1,000 万米ドルを超える見込み。現在、チームは斜杠広場に常駐しています。

(3) 愛果樂科技股份有限公司

2013 年に蘇州で設立された同社は、800 人以上の従業員を擁する、ヘルスケア用品に焦点を当てた技術力を持つ消費財企業です。2021 年には江蘇省の潜在的ユニコーン企業、蘇州市のユニコーン育成企業、蘇州市相城区のユニコーン企業の称号を授与され、2022 年には中国の革新的ブランドトップ 500、中国で最も価値のあるライフスタイルトップ 25、KPMG 中国の新国内製品 50 リストの特別賞、ドイツの IF デザイン賞、台湾の金点デザイン賞を受賞しました。2023 年末現在のメインブランドはオンラインオムニチャネル売上高で 8 年連続で 1 位を獲得しています。2023 年の売上高は 5 億 5000 万元、小売売上は 15 億元を超える予定です。

二、重点越境 EC プロジェクト

(1) 未来越境 EC 産業園プロジェクト

このプロジェクトは、越境 EC 事業主と越境 EC サービスプロバイダーによって補完されるワンストップの越境 EC 集積を形成し、中国東部から、華南と中国中部を見据えています。越境 EC の売り手のインキュベーション、運用レベル毎のトレーニング、従来型の貿易取引から越境 EC への変革、代理店運営、外国為替通関の標準化、越境 EC 金融、海外の商標代理店弁護士、海外の倉庫サービス、プラットフォームのマッチング、AI 画像および動画処理、ERP 共有センター、スタジオ、海外インフルエンサー、越境 EC 関連の会議サービスなどが含まれています。集積効果と専門的な支援サービスを通じて、企業がコンプライアンスを遵守して運営し、越境 EC 大学、製品業界チェーン図書館、情報プラットフォーム、金融特別信用、その他の産業園リソースを通じて発展し成長するように導きます。このプロジェクトは、総面積約 10,000 平方メートルの隆恒ビルに設置する予定で、プロジェクトの運用開始後 5 年間で累積輸出入 6 億米ドル、新たに 30 の国境を越えた貿易企業が入居、国内貿易データは 20 億元になります。

(2) 越境 EC コンプライアンス運用プラットフォームプロジェクト

このプロジェクトは、中国社会科学院国際法研究所、数安信（北京）科技有限公司、蘇州数拠資産運営有限公司、蘇州原力出海信息科技有限公司が共同で開始しました。包括的な越境 EC コンプライアンスサービスプラットフォームを構築し、海外知的財産コンプライアンス、データコンプライアンス、クロスボーダー決済コンプライアンスサービスなど、設立から運用までのフルスタックコンプライアンスサービスを企業に提供し、企業が海外に進出するためのワンストップサービスプラットフォームを作成します。一方で、越境 EC の顧客に、対象者の確立、ローカライズされた運用、リスク監視、コンプライアンスレビュー、リスクの特定、修正計画などのフルプロセスのコンプライアンスを提供し、他方で

は、さまざまな商品やサービスのコンプライアンスに準拠した出口を確保し、海外の商人が国境を越えた製造輸出の規模を拡大するのを支援し、海外の倉庫企業が越境 EC プラットフォーム、物流会社、決済会社などと緊密なパートナーシップを確立することを促進し、リソースの共有と補完的な利点を達成し、海外の倉庫のサービス能力と市場競争力を継続的に改善します。現在、プロジェクトは予備交渉中です。

三、今後の計画

相城高新区は、都市と地区の越境 EC 開発推進会議の方針により、将来の越境 EC 産業園、越境 EC コンプライアンス運用プラットフォーム、盤古越境 EC、および議論中のその他のプロジェクトの実施を加速し、「中国(蘇州)の越境 EC 総合試験区(2024-2026)の高品質開発のための 3 年間の行動計画」の主要なタスクを実施します。

1 つ目は、品質と効率を向上させ、企業が全体的な状況に対応できるように導くことです。企業が現地で商社を設立し、生放送室の GMV(総取引額)を地区商務局、税務、その他の関連部門に適宜報告し、企業の貿易および税務データをタイムリーに把握します。主要なプラットフォームの魅力を高め、越境 EC ブランディングの開発を強化します。

2 つ目は、効率化を優先し、物流資源を連携することです。企業が物流リソースとつながるのを積極的に支援し、輸送コストの削減と輸送効率の向上に努めます。新興市場国での海外倉庫のレイアウトを加速し、海外倉庫の公共サービスのためのスマートプラットフォームを構築し、海外の倉庫企業に情報化構築の改善を奨励し、「倉庫でのライブコマース」(倉内直播)や「展示と倉庫の分離」(前展后倉)などのビジネスモデルを拡大するように企業を導きます。

3 つ目は、成長する企業を誘致するよう、高品質な政府サービスを保証します。政府サービスと企業サービスのエコロジーをさらに最適化し、越境 EC の包括的なサービスシステムを改善し、政府と企業間の標準化された連絡体系を確立し、企業のニーズに合ったオーダーメイドのサポートを提供します。蘇州市の最新の政策詳細に沿って、政策の企業が政策サービスを楽しむように、より高いレベルの関連部門と協力し、企業の実際のニーズと組み合わせて政策支援を積極的に努力し、越境 EC 業界のより良い発展を促進します。

渭塘鎮の越境 EC 情況の報告

蘇州市相城区渭塘鎮

2024 年 9 月

近年、新たな貿易パラダイムとしての越境 EC は、世界中で急速な発展をしています。渭塘鎮はこの機会に産業のデジタル化のプロセスを加速し、深センの完全な越境 EC エコシステムを活用し、渭塘(深セン)越境 EC インキュベーターを構築し、「越境 EC+産業ベルト」モデルを推進し、地元の製造製品の海外進出を支援しています。

一、現在の業務と施策

渭塘鎮は、2021 年に深センに越境 EC インキュベーターを設立し、深センの高品質の越境 EC 企業などと協力しています。越境 EC スタートアップ企業のインキュベーションを通じて渭塘鎮の越境 EC の集積と発展、生産と貿易の有機的な統合を促進します。

渭塘鎮のスマート小型家電業界の特徴を活かし、渭塘鎮の伝統的な貿易企業は、渭塘(深セン)の越境 EC インキュベーターの助けを借りて、変革とアップグレードを開始しました。たとえば、管轄区域の掃除機フィルターメーカーである蘇州普沃特淨化器材有限公司は、インキュベーターの支援により多くの越境 EC 企業と接触し急成長をしています。同社は今年、深センの越境 EC 企業と手を組み、渭塘鎮で越境 EC 事業を共同で実施し、渭塘に新たに設立された越境 EC 企業の事業は 2000 万元を超えました。

渭塘(深セン)の越境 EC インキュベーターを通じて深センの国境を越えたりソースと詳細な情報交換を行ってきました。深センの多くの越境 EC 企業は、年間売上高が 10 億元を超えており「越境 EC+産業ベルト」モデルに強い関心を示しています。協力交渉を経て、これまでに 3 つの深センの越境 EC 企業が渭塘に進出しました。今後も、これらの企業の主導的な役割を十分に発揮し、より高品質の越境 EC 企業を誘致し、産業開発を続けます。渭塘鎮政府もビジネス環境をさらに最適化し、企業の繁栄を支援するためのサポートを行います。同時に、交流と協力のためのプラットフォームを積極的に構築し、企業間のリソース共有と共同イノベーションを促進し、渭塘鎮の越境 EC 産業を推進し、地域経済の繁栄と発展を進めます。

二、今後の計画

次のステップでは、渭塘鎮は、渭塘(深セン)越境 EC インキュベーターのプラットフォーム効率を発揮し、越境 EC スタートアップ企業のサポートを強化し、さまざまな越境 EC を加速します。国境を越えたりソースと積極的につながり、私たちの地区の支援方針を説明し、質の高い行政サービスを提供することで、プロジェクトの円滑な実施を強力に支援します。

同時に、既存の伝統的な外国貿易企業の変革とアップグレードを奨励し、渭塘(深セン)越境 EC インキュベーターの豊かな経験の助けを借りて、国境を越えたビジネスを着実かつ迅速に推進します。多様な販売チャネルを通じて、海外の新興市場を開拓します。

渭塘鎮は、国境を越えた電子商取引の分野で初期結果を達成し、オフショアインキュベーターの設立を通じて深センの高品質リソースとの協力と連携し、地元企業の開発、変革、アップグレードを促進します。今後も、渭塘鎮はこのモデルに引き続き推進し、サービスと政策を継続的に最適化し、国境を越えた電子商取引業界の繁栄と成長を促進し、地域経済の発展を支援します。